

# 勝山市エコミュージアムニュース

## 平成29年度の取り組み



先生  
これはエドヒガンですか？

樹勢は「優良」、花は…

さくらの調査 北郷町エドヒガンしだれ桜



平泉寺町南谷



野向町薬師神谷



エドヒガン花



### さくらマップ完成!

問合せ 勝山市エコミュージアム協議会事務局まで  
☎0779-87-1011



勝山の里地にはエドヒガンとソメイヨシノの二種類のサクラがあります。ソメイヨシノは明治になり植栽されたサクラで多く見られます。エドヒガン(シダレザクラを含む)は明治以前から生育していたサクラで、うすいピンク色の花を咲かせます。勝山では土手や寺等に多く生育しています。このマップを持って花見に行かれてはいかがでしょうか。

自然環境部会長 小林 則夫



【ジオツーリズム支援事業】



## 1-1 勝山市ジオパークガイドの会

### まちなか散策ジオツアーをスタート

花月楼さんを起点に10月からのべ15日間開催。市外観光客を中心に約300人を七里壁、お清水、城跡、町屋・寺町などへご案内、好評を頂きました。街中をさらに魅力的で楽しいジオサイトへ、ストーリー性をもったツアーとすべくレベルアップを図っています。

【ジオサイト保護・保全事業】



## 2-1 むろこ女性の会

### 赤とんぼロード付近の環境整備事業

村岡小学校グラウンドから村岡山に沿って「赤とんぼロード」を開設しています。毎年多くの赤とんぼが舞う風景を、大切に安全に観察できるようにと地域の方や壮年会の協力を得て、環境の整備を行いました。



## 2-2 谷はやし込み保存会

### 谷のお面さん祭り(2月17日(土))

大阪の8名のボランティア大学生と共に谷地区、伊良神社参道、道路沿いに雪像を作りました。雪像に蝋燭の灯がともる夜、神事が始まりお面が披露されました。見学ツアーには40名が参加し、地区を離れた出身者も駆けつけ、囲炉裏を囲み山の保存食の郷土料理を堪能しました。



## 2-3 荒土町ふるさとづくり推進協議会

### 炭焼き

今年は640kg程の木炭を生産しました。副産物の木酢液を購入者にサービスしたところ、「庭の鳥獣害対策になった」と喜びの声を頂きました。また9月に荒土町がNHK福井『ほやほやみつけ隊』の取材を受けた際、当会の会員も出演し、炭焼き事業や商品のPRをしました。



## 2-4 北郷町まちづくり協議会

### 畝見川清掃

北郷町自然遺産の保全活動の一つとして、畝見川清掃を行いました。畝見川にはたくさんのホタルやバイカモが生息しています。数多くのごみや雑木・草等を引きあげきれいにすると共に我々のもつ貴重な自然遺産への保全意識も高まりました。



## 2-5 まちづくり・むろこの会

### 村岡山の草刈り、山道用階段の設置、 防腐剤塗布

村岡町のシンボルでもある村岡山を、毎年登山シーズン前に整備しています。今年度は、登山道や山頂の草刈りのほか、登山者の安全確保に向けた階段の設置や頂上付近のベンチ、テーブルへ防腐剤の塗布を行いました。



## 2-6 遅羽町住民協議会

### バンビライン整備

バンビライン整備は3月末に倒木の除去、展望台までのロープ張り、階段の設置などを行いました。また、崖崩れの箇所迂回路を整備しました。公民館前の遅羽案内マップ（看板）の作成も行いました。



## 2-7 勝山地区まちづくり協議会

### 子どもたちの灯りまつり「行灯のひかり」

勝山の夏祭りが「灯りまつり」となり、大清水を中心に河原町通りがたくさんの灯籠で飾られました。勝山地区でも中心部が少しでも賑やかになればと、中央公園に地区の小学校3年生から6年生までの児童344人の絵や川柳の作品で「行灯のひかり」を演出しました。



## 2-8 平泉寺町まちづくり推進協議会

### 白山平泉寺参道燈明プロジェクトVI

今回で6回目を迎えた燈明プロジェクトですが、今年は積雪にも恵まれ、月明かりの下で開催することができました。400本の竹の燈籠から蠟燭の光が白い雪をほんのりと照らし、幻想的な世界が広がる中、大勢の参拝客に足を運んでいただきました。



## 2-9 鹿谷町まちづくり協議会

### 矢戸坂整備

矢戸坂の薄墨桜を鑑賞するジオツアーに向けて9年ぶりに登山道を整備しました。草刈り、倒木の除去、がけ崩れ防止柵、手づくり案内看板の設置など丸1日かかりました。また、薄墨桜の場所から頂上までの急な登り坂に付いていたロープを新しいロープに付け替えて滑落防止対策も万全にしました。



## 2-10 勝山北部中学校生徒会

### 小中連携環境保全活動

本校の2年生とその校区の3小学校の6年生が協力をして、各小学校区で環境保全活動を行いました。毎年行っている行事ですが、今年度は鹿谷地区ではセイタカアワダチソウの駆除、北郷地区では梅花藻保全のための河川清掃に加え、荒土地区においては勝山の美しい景観を守るために、皿川沿いの七里壁の草取りを行いました。



## 3-1 NPO法人まちづくりのむきの会

### 気候風土に合った作物収穫体験活動

野向町の気候風土に合った作物の収穫体験や地域資源の保全活動を通して、作物とジオとの関係を学習し、地元の農作物がなぜ美味しいと言われるのか、地域の特徴を体験できました。地元農家との交流を深め、豊かな体験活動とふるさとに愛着と誇りを育てることができました。写真は子ども達が種から大切に育てた苗を圃場へ定植する準備です。



## 3-2 公益社団法人 勝山青年会議所

### かつやま魅力発見!ジオツークエスト

市内小学生4～6年生を対象に、本町商店街を中心に近郊のジオサイトを利用した宝探しゲームを行いました。昔の古い地図を頼りに七里壁や大清水等、各ジオサイトで出される問題を解いて宝箱を見つけます。ゴールの花月楼ではお弁当を食べながら建物の歴史を学びました。



## 3-3 沢山会

### 世代間交流事業

沢山会は、エコミュージアムに参画し、勝山の自然豊かな地域資源の保全、世代間交流事業として、毎年のように子供会、成器西小学校、幼稚園、保育園等とサツマイモ堀り、大根引き、稲作の事業を実施しています。今年はきたこども園の園児と大根引きをしたところ大変喜ばれ、来年も計画してほしいとの要望を受けました。



## 4-1 猪野瀬まちづくり推進協議会

### 第56回いのせ文化祭

11月12日(日)に林業者体育館と猪野瀬公民館で実施。ステージ発表や展示の他、近年は野菜や手作りの加工食品・工芸品などの出店も盛んで、猪野瀬地区の13団体が館内や外で出店販売し、にぎわいました。地元の小中学生も販売に活躍しました。



## 4-2 勝山恐竜研究会

### 恐竜セミナー

平成29年度には、勝山市ジオパーク専門員の町澄秋氏をお迎えし、北谷町杉山の滝波川河原で「勝山の手取層の化石を発掘しよう」というテーマで恐竜セミナーを行いました。



## 4-3 NPO法人 白山エフエム

### アンチエイジング（これは誰にも負けんぞ!!） 研修会用映像取材

今年度も「ケア・ブレイクかっちゃま」で、“いつまでも暮らし続けることができる勝山”を目指し福祉・医療関係者、民間企業の方々と一緒に活動しています。写真は、H29.9月の研修会「ケアブレイク第9弾アンチエイジング(これは誰にも負けんぞ!!)」で使った映像の撮影風景です。勝山に住む、身体も心も若々しく眩しい人のお話は、とても刺激的でした。



## 4-4 縄文の里料理研究会

### カタクリまつりで山菜てんぷら

遅羽町では、毎年4月の第2日曜日は「カタクリまつり」を開催しています。市内外から大勢の方々がバンビラインハイキングに来られ、私たちがつくる揚げたての「山菜の天ぷら」を喜んで下さいます。フキノトウ、コシアブラなど春が来るのが待ち遠しいです。



## 4-5 片瀬銭太鼓保存会

### 地域の文化振興と伝統芸能

片瀬銭太鼓保存会では地域貢献としてのねらいの一つとして、地域文化振興を図っています。その格好の場が「いのせ文化祭」の舞台出演です。本祭では地区の伝統芸能等多様な舞台出演がみられるようになりました。



## 4-6 スイーツ食愛かつやま

### 荒土小学校キャリア教育

荒土小学校キャリア教育の授業にのぞみました。クイズを交えて地場産の野菜の魅力を伝え、旬の野菜が甘いケーキに変身することを体験して頂きました。子供達は、野菜に興味津々。嬉しい誤算でした。もっともっと興味を持って欲しいと思います。



#### 4-7 NPO法人 せいきコミュニティスポーツクラブ

生涯スポーツの裾野拡大事業：  
ノルディック・ウォーク

健康や生きがいがづくりの観点から運動やスポーツ振興の重要性が高まっています。一に運動、二に食事、三に元気で長生きしてもらうためにノルディック・ウォークを多くの仲間と楽しんでもらっています。



#### 4-8 勝ち山ボッカケ連盟

九頭竜鮎ボッカケ

平成29年10月22日(日)、勝山産業フェア会場において200食限定の「九頭竜鮎ボッカケ」のふるまいを行いました。九頭竜鮎ボッカケは、素焼きした鮎のほぐし身と生姜を具材とした醤油味の焚き込みご飯に、カツオベースの出汁をかけた創作ボッカケです。試食者からは「やさしい味付けで大変美味しい」「自宅でも作ってみたい」などの好評を頂き、盛況のうちに終わることができました。



#### 4-9 いのせボートくらぶ

猪野瀬運動会へ出店(10月15日)

今年はいにくの雨。南部中学校体育館入口で販売。あつあつ出来立てを、声をかけながら館内を売り歩きました。地区の交流の一つとして盛り上がりました。

### 15分研修

会議の前の15分を利用して会員のスキルアップを図りました

#### 「泰澄大師」

日時 平成29年6月27日(火)  
場所 勝山市市民交流センター  
講師 勝山地区まちづくり協議会 安岡明治氏



生きた泰澄大師を感じてもらいたいと小学生でもわかるように作製された「泰澄和尚伝絵物語」をもとにした年表を見ながら泰澄大師について学びました。泰澄大師の名前は国が編集した歴史書には登場しておらず未だに謎も多いと聞いていましたが、今回の講義で生き生きとした泰澄大師を感じることができました。「泰澄和尚伝絵物語」は勝山市立図書館で借りることができます。

#### 「声の届け方・思いの伝え方」 ワークショップ

日時 平成29年9月6日(水)  
場所 勝山市市民交流センター  
講師 梅田演劇工房 梅田美千代氏

思いを伝えるには、伝える相手の方を見ること、相手の目を見ること、ボールを投げ渡すように相手に向かって声を投げかけること、と教えていただきました。また、声を出すときは口角をあげて前歯を見せるようにすると口が大きく開き、大きな声が出せるそうです。しっかりと伝えたいですね。



#### 「記録写真を撮るコツ」

日時 平成30年1月17日(水)  
場所 勝山市市民交流センター  
講師 NPO法人白山エフエム 小玉理恵氏

報告書や広報誌に載せる写真を撮るときにのちょっとしたコツを学びました。  
★取り忘れないようにするため記録係を置く  
★撮り逃しがないようにどんな場面を取るかを考えておく  
★撮影者は、自分からどんどん動いて色々な角度から撮影する  
☆新聞の写真の構図を参考にしてみるとよい  
☆そのイベントの一番メインはどんな場面なのかを考える。



## 白山平泉寺開山1300年記念事業

白山は今年度、泰澄大師によって開山されてから1300年を迎えました。平泉寺では、白山平泉寺1300年記念祭が開催され当協議会では、7月15・16日の2日間、越前大仏前シャトルバスの発着場で冷茶のふるまいと雪室貯蔵米、鹿谷ひょうたん、赤とんぼバッチなどエコミュージアム活動から生まれた商品を中心に販売しました。急な雨にあわてる場面もありましたが、観光に来た方々の生の声が聞けて大変有意義な2日間となりました。



食の部会では、3年前から雪室に地元野菜を貯蔵し食味を調査しています。



一番美味しいのは、大根、人参、ゴボウなどの根菜類です。また、米については、白米で貯蔵したのはカビが発生しました。玄米で貯蔵した方がみずみずしく美味しいことがわかり白山平泉寺開山1300年記念イベントで販売しました。次はイモ類の貯蔵方法と期間を考慮し検討していきたいと計画しています。

食の部会長 北川 誠一



## 第4回ジオツアー「鹿谷矢戸坂の薄墨桜の鑑賞とジオ探訪」 H29.4.16(日)



鹿谷町まちづくり協議会 会長 宇佐美 辰 美

矢戸坂の頂上付近に太くて立派な桜が群生していて、いつの頃からか「幻の薄墨桜」と呼ばれています。

今回、事前の登山道整備とツアー当日の2週に亘って淡墨桜を訪問。さすが「幻の桜」。満開の花には遭遇できませんでした。再挑戦して、仰ぎ見る大きな木と可憐な花からパワーをもらいたいものです。

ここからは、霊峰白山と加越の山々を一望でき、心を癒す絶景が広がっています。

## 第5回ジオツアー

## 「村岡山城跡とジオ探訪」勝山の地名の起こりとなった山を訪ねて H29.6.25(日)



まちづくり・むろこの会 会長 福本 福 泰

村岡には勝山市の地名の起こりとなった村岡山(標高301.0m)があります。村岡山に立てこもった一向一揆が、当時栄華を誇っていた平泉寺に討ち勝ち、村岡山を「かち山」と呼んだことからだと言われています。ジオパークガイドから山の成り立ちや歴史的なことなどの説明を受けながら、山を散策してきました。毎年8月16日には「かち山ちようちん登山」が実施されています。

こんな  
近くに！

# こんな素晴らしい ジオパークがありました！



期 日：平成29年7月30日（日）

場 所：白山手取川ジオパーク

参加者：20名

石川県白山市白峰を中心に車でおよそ1時間以内のジオスポットを、しらみね自然学校事務局長の山口さんをジオガイドをお願いして、視察研修してきました。上記の写真の他にも不老橋からの手取峡谷の様子や鳥越一向一揆歴史館では鳥越城の資料やVTRの鑑賞もしてきました。また、ご当地名物？のクマ丼をみんなで頂きました。大地の成り立ちやそこにある歴史、文化、住民の営みの係わり方を知り、ジオパークの奥深さと楽しさとジオガイドの重要性を肌で感じた、とても素晴らしい研修会でした。



会長 西山 和彦

久しぶりに雪の多い冬でした。毎日の除雪にへとへとなりましたが、勝山市民は不自由に耐え協力し乗り越えました。今年度のエコミュージアムニュースが完成しました。これには、会員が知恵を絞り協力し成しえた事業が紹介してあります。このような活動ができるこの町を私は誇りに思います。